

第2回第2部会(H29.2.1開催)での主な意見と対応

施策体系(案)について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
①	事業メニュー	農業の「担い手育成の推進」について、認定農業者や集落営農組織はすでに網羅されている。これからの農業は外国人に頼らなければいけないような状況にあり、就農支援が重要である。集落営農は株式会社化して認定農業者を育て、責任体制を構築するよう行政からも指導や支援をすべき。	事業メニューに連なる個別事業として、農業経営の組織化や法人化、新規就農の事業を入れたい。
②	「担い手育成の推進(認定農業者・集落営農組織など)」	事業メニューの括弧書き(認定農業者・集落営農組織など)は余計である。	
③		集落営農は、高齢化や体制に課題があり、組織の統合による組織力の強化が必要である。また、農閑期対策として補助金以外にも自立できる仕組みが必要。	認定農業者や集落営農に絞った対応は時代に沿った対応ではないため、括弧書きの内容を「経営体質の強化など」に見直したい。ただし、「担い手育成」の表現は全てを包括するため適切であると考えます。
④	施策区分 ②工業の振興 ③商業の振興	施策区分「工業の振興」の事業メニューにある「商業共通」の表記を改め、施策区分「商業の振興」に示してほしい。	「工業の振興」に係る事業メニューから「商業共通」の表記を削除し、「商業の振興」に係る事業メニューを見直します。
⑤	その他 道の駅	「道の駅」は、他の部会で議論されている内容かもしれないが、産業界を連携する拠点施設となるため、産業界でも事業メニュー等に明示させてはどうか。	「道の駅」については第3部会だけではなく、第2部会においても「生産・流通・販売対策促進事業」の中で議論したい。
⑥	その他 施策体系	産業界の各分野はそれぞれが密接に関わっており、体系の中で区分すると別々のものとして見られる。「くろべ牧場まきばの風の運営強化」についても、農業に区分されているが、集客の視点から見ると観光に区分される。記載方法を工夫してほしい。	施策の関連性や事業間連携を体系的に示すことは難しいと考える。

重点メニューについて

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
⑦	事業メニュー 「農村環境の保全・整備」	農村環境や中山間地域の保全には水の利活用が必要である。マイクロ発電の導入においては、農業施設の維持管理等の視点も含めて実施してほしい。	水の活用や循環型社会への対応については、第1部会で議論する。 マイクロ発電については、黒部市は勾配のある水路があるため、中山間地域や平野部において利用が可能かと思われる。施設整備の個別事業として取り組んでいけるのではないかと考える。
⑧		「農村地域の水環境等の保全・利活用」などとタイトルを変えることで対応できないか。	事業メニューを「農村地域の水環境等の保全・活用」に修正し、重点メニューに位置付けたい。
⑨	施策区分 ③商業の振興	商業の衰退が著しい状況であり、まちの賑わい創出のためにも、商業の活性化もしくは起業支援を重点メニューとして設定してほしい。	事業メニューを見直し、「中心市街地の活性化・空き店舗対策の推進」を重点メニューに位置付ける。 また、「工業の振興」の事業メニューであった「起業支援体制の整備推進」は「商業の振興」に移し、事業メニュー「起業に対する支援の充実」として重点メニューに位置付ける。

中間報告(案)について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
⑩	全体	西暦と和暦の記載があるが、年号を統一してほしい。	西暦と和暦を併記するよう修正します。

第2回部会以降の意見・提言

	区 分	主な質疑内容	回答・対応等
①	基本計画	<p>持続可能な行財政運営が重要となる中、市民がまちづくり活動に積極的に参画し、協働していくべき時代となった。</p> <p>基本方針3「都市基盤の充実した住みやすいまちづくり」の公園・緑地の整備について、市民と行政の協働による保全活動に関する内容を盛り込んではいかがか。</p>	<p>市民と行政の協働によるまちづくりに関しては、基本方針6「市民と行政がともに支えるまちづくり」に盛り込んでおり、これにより公園・緑地の整備についても協働による取組が進められていくものと考えております。</p>
②	その他	<p>自然環境豊かな黒部市には自然を活かした公園が数多くある。その多くは、市民の要望によって造られたものであり、今後の保全・管理については受益者負担を求めるべきではないか。</p>	<p>受益者負担の適正化については、市の行政改革大綱の中に位置付けており、これまでも施設使用料等の見直しを行っております。</p> <p>今後も引き続き受益者負担の適正化に努めてまいります。</p>